



2学期を振り返って

昨日、2学期の終園式を行いました。2学期はたくさんの行事がありました。筑女まつりや運動会、遠足、年中さんと年長さんは発表会、焼き芋パーティーなど、楽しい行事として子どもたちの心に残っていることでしょう。特に、運動会や発表会は、みんなで力を合わせることが多く、クラスとしての高まりも感じられました。また、自分から進んであいさつができるようになったり、友だちに優しく接することができるようになったりと、日々成長している子どもたちの姿をたくさん見ることができました。

今日からは、冬休みに入ります。冬休みは、クリスマスやお正月など楽しい行事が盛りだくさんです。事故や病気、けがなどに気をつけて、楽しく元気に過ごしてほしいと思います。



盛大だった焼き芋パーティー

12月10日は、全園児が焼き芋パーティーを満喫しました。準備の段階では、子どもたちが、さつま芋がきれいに焼き上がるようにと濡れた新聞紙とアルミ箔で包みました。その芋を薪や木炭、落ち葉などでたき火をしたおき火で30分間、蒸すように焼きました。落ち葉を集めるのは子どもたちの役目です。全部で200個以上の芋を焼き上げました。出来上がった芋を食べる子どもたちは「おいしい、おいしい」の連発で、笑顔いっぱいでした。園庭が芋を焼く煙やにおいに包まれるようすは本園の冬の風物詩です。



まわりの人に優しく

12月13日に成道会（じょうどうえ）のおつとめをしました。成道会とは、お釈迦様が悟りを開かれたことを記念して行う法要です。この日は、本学園の先生から絵本による法話がありました。「ある老人が、森の中の動物たちにお腹が空いていることを伝えると、動物たちは食べ物を老人に分け与えます。ウサギは与えるものがないので、自ら火の中に入り自分を食べてもらおうとします。神様だったその老人は、その行いに感銘を受け、うさぎが焼けないようにするとともに、月にうさぎの姿が見えるようにしました。」というお話です。たとえ話ではありますが、相手のことを思う気持ちが伝わってきます。まわりの人に優しくすることの大切さを教えていただきました。



たんぽぽクラスで豚汁づくり

先週はたんぽぽクラスで豚汁をつくりました。たんぽぽのお友だちもかわいいエプロンを身に付け、調理体験です。人参や大根などの具材をプラスチックのナイフで小さく切る作業をしました。具材をきざむ子どもたちの真剣な眼差しが印象的でした。できた豚汁は、親子でおいしくいただきました。自分たちがつくった豚汁の味は格別です。お代わりをするお友だちもいました。私もこの豚汁をごちそうになりました。こうした活動を通して、たんぽぽクラスのお友だちにも食について関心を持ってほしいと思います。

